



## ☆☆ニュースレター☆☆

第152号  
発行日:2017. 10. 24  
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長:稲垣 正彦

発行責任者:事務局長・桑原 正明

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX:043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

### ～前号第151号発行(17-8-21)以降の出来事・イベント～

クライネスサービスは普段の防犯、環境美化に関わる定例活動のほか各種イベントへの参加や親睦会を催しています。以下は前号発行以降の内容です。(括弧内数字は会員の参加人数)

08/26---小竹区盆踊り大会(5名) 08/27---ユウカリ地区「合同パトロール」(16名)

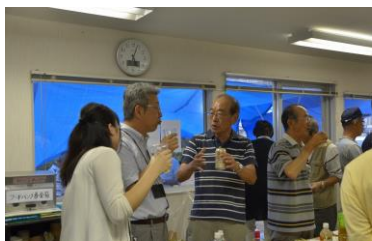
09/07---バーベキュー会(43名)

09/23-24---「敬老の集い」(駐車場案内・整理、15名)

09/27---青菅まち協の取材受ける(11月中旬青菅小学校区全世帯配布の広報誌に載る予定)

10/04---赤い羽根共同募金(3名)

10/05---第39会親睦「パークゴルフ会」(11名)



苗木名幹事が巧みに算出した新ハンディをもとに競ったすえ、穴戸会員が4度目の優勝となった。

10/07---「井野っ子祭り」(2名) 10/08---上座区秋祭り(14名)

10/13---地域防犯ボランティア県民大会(千葉市・青葉の森公園「芸術文化ホール」)に6名

10/14---小竹区神輿渡御(500kgsもある豪華な神輿を威勢のよい力持ちが担ぎ地区内を回る行列の前後警備・交通整理にそぼ降る雨の中雨合羽着用で8名)

10/17---第5回カラオケ会(8名)



### \*新入会員紹介\*

正会員 「喜来 和子(きらい かずこ)さん」(ユウカリが丘4丁目在住・9月14日入会)

### \*事務局員交代のお知らせ\*

11月1日より「中里武人さん」と交代で「関 明子さん」(9月14日「正会員」登録)が事務局員として(「小林弘司」さんと交替で)務めることとなりました。2004年からほぼ13年の長きに亘りクライネスサービス事務局の運営に従事された中里さん、長い間ほんとうにお疲れ様、ありがとうございました。会員の皆様には新任の関さんに対しても中里さん同様温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

(次頁に続く)

会員投寄稿 -42- バリ島旅行記 苗木 新作

先月羽田発の飛行機で、家内と娘夫婦の4人バリ島に行って来ました。最初は若い人達が行く場所と思って少し戸惑いもありましたが、行ってみれば天



国で異国の文化や景色などを満喫することが出来ました。往復乗り継ぎ便を含め4便ともビジネスクラスでしたが、羽田出発までのあいだ空港

内ラウンジでは、飲み放題・食べ放題で、腹一杯のご馳走に。機内での食事でも完食し、乗り継ぎ地点のシンガポール空港ラウンジでも飲食を重ね乗り継いだフライトを含め12時間の間に4回も飲食したことになります。

バリ島に着いたときは腹が膨れて歩くのもやっとな。無理しなければよかったのに、出されたものは断ることが出来ない性格なので仕方ない。両替したところ1万円が何と約100万ルピアに！一躍大金持ちになった気分でした。送迎車でホテルに向かう途中は、ヒンドゥー教独特の形が同じような石造り門が立ち並んでいて、「町中寺院だらけ」と思っていたら、このような門のある建物はバリ人の個人の家で、毎日祭壇に祈りを捧げ、植物でできた「チャナン」をお供えする風習があるということです。

バナナ、ヤシやマンゴウが実るジャングルを見下す「コマネカ・アット・タンガユダホテル」にチェックイン。繁華街のウブドに出かけて猿を放し飼いにしている公園・モンキーフォレストに寄った後、カフェ・ロータスでバリ舞踊を鑑賞しながらの夕食。

車で大渋滞の信号もない交差点では、車間距離が1mもあればその間を観光客はじめ、うんかの如く大量のスクーターと車が割り込んできて、驚くなかれ、直進・右折・左折を行なっているではないか。自分が運転したら1日経っても交差点を通過出来ないでしょう。

翌2日目は日本語の通訳兼案内人付の車をチャーターし、エレファント・サファリパークで大きなスマトラ象に乗って公園の中を散歩し、ティルタ・エンプル寺院へ。参拝料が15,000ルピアと聞き一瞬怯んだが日本円に換算すればわずか150円である。この寺院は湧き出る「聖なる泉」で有名。側にスカ

ルンで身を清めたのち棚田を見物し、次のコーヒー園では、ルアックコーヒーと言うジャコウネコの糞に混ざっているコーヒー豆をきれいに洗ってから焙煎した最高級のコーヒーを味わって、ホテルへ。プライベート・プール付きのホテルでは、家族がマッサージを受けている間、泳げない自分は水着を持参しなかったにも拘わらず誰も見ている人はいないと、裸のままプールに入ったものの、深さが135cmあり何度か溺れかけました。その結果プールサイドに用意されたミネラル水ではなく、飲み込んだのはプールの水でした。夕食は、一面に赤いブーゲンビリアの花びらや花輪が浮かべられたプールの傍にろうそくが数十本も灯されたベランダで星空を眺めながら料理を堪能。

3日目もチャーター車で、ゴア・ガジャ遺跡を経

由し、タマン・アユン寺院へ。本殿は正装をしたヒンドゥー教徒しか入ることが出来ないため、観光客は塀の外側から見ることになるが、メルと呼ばれ



る荘厳な多重塔が見ものです。その後、バリ観光のハイライトであるタナロット寺院へ。

神秘的なこの寺院は海の中に建っているのに、岩場から聖なる湧き水が出ていて、訪れる人は顔や頭を清めるのですが、引き潮時でなければたどりつけない。インド洋に沈む夕陽を背にした美しい景色は一見の価値あり

です。海岸の石畳を渡って参拝したあと、最後の宿「フォーシーズンズホテル」へ。



シーサイドで生演奏を聴きながらの夕食でした。4日目はホテル内の散策と、ホテルが用意したヨットで潮風を受けながら海を楽しんだのち、多くの思い出ができたバリ島を後にし、ジャカルタ経由で翌朝成田空港に無事帰ってきました。(10/19 苗木記)